



朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子
～ 豊かな学びで楽しさと笑顔あふれる朝霞十小 ～

朝霞市立朝霞第十小学校

令和6年度 8・9月号

〒351-0023

朝霞市大字溝沼828-1

TEL 048-469-5443

在籍児童数 731名

高まる災害の可能性

校長 岩崎 英雄

本日、2学期を迎えました。子供たちは40日間の夏季休業期間で、様々な体験や経験をし、一回りも二回りも成長した姿を見せてくれました。また、5年生はこの夏休み中の林間学校において、ハイキングやキャンプファイヤー等の体験を通して、一人一人の成長とともに、学級や学年の絆も深めることができました。ご協力、ありがとうございました。そして、本校の合唱団「うたの輪」も大宮ソニックシティを会場に、第91回NHK全国学校音楽コンクール埼玉県大会において、見事に銅賞を受賞しました。立派な態度で堂々と美しく、表現豊かな歌声がホールにひろがっていました。メンバーの日頃の練習の成果が発揮されました。今後の活躍も楽しみです。



コンクール前にリハーサルをする「うたの輪」合唱団

2学期は79日の授業日となります。2学期には、運動会（10/12）、市内陸上競技大会【6年】（11/1）、黒目川マラソン大会（12/11）、その他にも各学年の校外学習や社会科見学、図書館まつりの取組、個人面談等々、盛り沢山の教育活動を計画しています。まさに『スポーツの2学期』『芸術文化の2学期』『学習の2学期』…となります。子供たち一人一人が『〇〇の2学期』となるよう、それぞれのねらいや目標を達成できるように準備や練習を重ね、実り多き2学期にしていきたいと思えます。

さて、この夏休み中も全国で大きな地震や豪雨・雷による被害が多数ありました。朝霞市においても7月31日、1時間に107mmという記録的な豪雨となり、その日のニュースでも全国で紹介されるほどでした。

「防災リテラシー」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？「防災リテラシー」とは、災害に関する情報を読み解く能力です。この力を高めるためには、「災害の脅威の理解」・「必要な備え」・「とっさの行動への自信」が大事だと言われています。情報を得たら、避難等必要な行動にすぐ結び付くようにしなければなりません。あらかじめハザードマップを見ておき、どのレベルならば余裕をもって避難できるか確認も必要です。

9月1日は「防災の日」です。1学期に引取訓練を実施しましたが、地震や天候等による災害発生時に児童を確実に保護者へ引き渡すことができることを目的に訓練をしました。他にも地震から火災が発生した場合の訓練や休み時間に大地震が発生したことを想定した避難訓練も行っています。こうした訓練を通して、「防災リテラシー」を高め、「自助」の力を身に付けさせていきたいと考えます。また、本校の校区には、黒目川もあり、昨今の異常気象により、この夏のような全国各地で発生した豪雨災害と同様の災害に見舞われるかもしれません。今学期は、河川の氾濫等による洪水時の避難、特に本校は「浸水想定区域内」にありますので洪水発生時の垂直避難訓練も予定しています。安全に、そして迅速かつ確実に避難行動がと



絆が深まった林間学校

れるよう対応マニュアルの再確認と教職員の体制も整えていきます。この機会に各家庭でも、災害発生時の避難行動や避難場所、家族間の連絡の取り方等話し合ってみてください。